

 千葉都市モノレール  
Chiba Urban Monorail



  
オークラ千葉ホテル

Chiba  
Urban

Monorail's

Mono  
Rooom

CHIBA  
URBAN  
MONORAIL

August 2023 debut



Chiba Urban Monorail × Okura Quality

# 千葉都市モノレール コンセプトルーム

# Mono Ro-om



2023年8月25日宿泊分より  
販売開始

千葉都市モノレールモデル  
走行が楽しめる複線ミニレイアウト

ずっと観てられます…

そして観れば観るほどわかる『凄さ』

懸垂式モノレールを 3Dモデリングで  
軌道から車輛までフルスクラッチ！

業界初導入 ?!

お部屋からの眺め

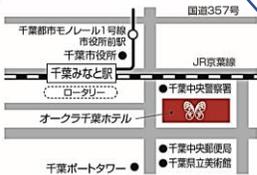
運行する『モノレール』  
+  
近代的なビルディング & JR京葉線  
絶妙?!な画角です

これまでも これからも 皆様と共に ~Together~

## オークラ千葉ホテル

〒260-0024 千葉市中央区中央港 1-13-3

Tel.043-248-1111(代) <https://www.okura-chiba.com>



お問い合わせ・ご予約

特別仕様品のご案内

## Nゲージ 千葉都市モノレールミニレイアウト



お願い

- ・ アクリルカバー、テーブルには強い衝撃を与えないでください。脱線の原因となります。
- ・ アクリルカバーには、お手を触れぬようお願いいたします。
- ・ 走行に関しては「走行スイッチ」で走行、停止します。速度の変更は出来ません。
- ・ 途中脱線や不具合が発生した場合は、走行を中止し上でフロントまでご連絡ください。
- ・ 不具合に関してはフロントスタッフが対応いたします。

特別仕様品のご案内

## オリジナル立体レリーフ



・お手を触れぬようお願いいたします。

特別仕様品のご案内

## デュベ（ベッドスロー）



- ・ベッドをご利用の際は、そのままの状態か外してご利用ください。
- ・お部屋の外への持ち出しはご遠慮ください。

## 千葉都市モノレール 展示品一式



- ・お手を触れぬようお願いいたします。
- ・お部屋の外への持ち出しはご遠慮ください。

## コメントノート



- ・お部屋の感想、モノレールへの想いなどご自由にお書きいただき、お泊り頂いた思い出にさせていただけると幸いです。
- ・色鉛筆もご自由にお使いください。
- ・ノートはお部屋に常備し、今後お泊りのお客様が内容を閲覧する事も仕様の目的としております。決してホテルとして強制的に記入をお願いするものではありません。お書きになる際は個人情報がかかる内容はお書きにならないようご注意ください。もし個人情報又はそれに準ずる内容をお書きになる場合は、当ホテルは一切の責任は負いかねます。
- ・お部屋の外への持ち出しはご遠慮ください。

## コンセプトルーム インフォメーション



- ・お部屋の外への持ち出しはご遠慮ください。

特別仕様品のご案内

## オリジナル製作 資料集



・お部屋の外への持ち出しはご遠慮ください。

鉄道専門誌【RM MODELS】MonoRoom掲載号



・お部屋の外への持ち出しはご遠慮ください。

その他 おススメポイント

## コンパクトにまとまったレイアウト



## 窓から見えるモノレールとJR



その他 おススメポイント

## ご宿泊特典：モノレールグッズ

チェックアウトの際にフロントにてお渡しいたします



※内容につきましては、予告なしで変更となる場合がございます。

千葉都市モノレールコンセプトルーム  
利用規約

この利用規約(以下、「本規約」といいます)は、千葉県市町村職員共済組合 オークラ千葉ホテル (以下、「当ホテル」といいます)が提供する千葉都市モノレールコンセプトルーム(以下、「本サービス」といいます)を、第1条に規定する利用者 (以下、「利用者」といいます)が利用する場合に、共通して適用されます。なお当ホテルの宿泊約款・利用規約と類似又は重複する項目について原則宿泊約款・利用規約を適応とするものとします。

宿泊約款・利用規約は当ホテル公式ホームページより閲覧できます。

宿泊約款 URL <https://www.okura-chiba.com/h/stay/provision.html>

利用規約 URL <https://www.okura-chiba.com/h/stay/agreement.html>

### 第1条 (利用者)

利用者とは、本規約に同意し、次条の利用者登録の手続きを完了した者 (個人又は法人その他の団体) をいいます。

### 第2条 (利用者の宿泊予約)

1. 利用者の宿泊予約は、宿泊予約希望者が当ホテルの定める方法によってその申し込みを行い、当ホテルがこれを審査し承認することによって完了します。
2. 当ホテルは、前項の審査の過程において、宿泊予約希望者が以下の各号のいずれかに該当すると判断した場合、宿泊予約の申請を承認しないことがあり、その理由については一切の開示義務を負わないものとします。
  - (1) 利用者登録に際して虚偽の申告をした場合
  - (2) 本規約に違反したことがある者からの利用者登録が行われた場合
  - (3) その他当ホテルが利用者として不相当と判断した場合
3. 利用日初日において、予約者が本規約に同意の上利用する事に相違がないか、ご利用に関する承諾書の承諾と署名を義務として、これを持って確認と証明とします。

### 第3条 (禁止事項)

当ホテルは、利用者が本サービスの利用にあたり、以下の各号の行為を行うことを禁止します。

- (1) 法令、本規約又は公序良俗に違反する行為
- (2) 犯罪行為に関連する行為
- (3) 当ホテルがコンセプトに基づき設置した以下の対象物について、当ホテルが定めた利用方法に違反する行為
  1. N ゲージとその用具一式
  2. モノレールに関する展示品
  3. オリジナル製作品

- (4) 他の利用者に関する個人情報等を収集又は蓄積する行為
- (5) 他の利用者になりすまして本サービスを利用する行為
- (6) 当ホテルのサービスに関連して、反社会的勢力に対して直接又は間接に利益を供与する行為
- (7) その他当ホテルが不適切と判断する行為

#### 第4条（利用制限及び解除）

1. 当ホテルは、利用者が以下の各号のいずれかに該当した場合、本サービスの全部若しくは一部の利用を制限、又は利用を解除することができるものとします。

- (1) 本規約のいずれかの条項に違反した場合
- (2) 登録事項に虚偽の事実があることが判明した場合
- (3) その他当ホテルが利用者として適当でないと判断した場合

2. 当ホテルは、前項に基づき当ホテルが行った行為により利用者に生じた損害について、一切の責任を負いません。

#### 第5条（免責事項）

1. 当ホテルが、本サービスに関し利用者に対して負う責任は、当社の故意又は重過失によらない場合には免責されるものとします。

2. 当ホテルは、何らかの理由によって責任を負う場合にも、通常生じうる損害の範囲内、かつ、コンセプトに基づき設置した対象物においては代金額(対象物の修繕又は追加購入分の相当額)の範囲内においてのみ賠償の責任を負うものとします。

3. 当ホテルは、本サービスに関して、利用者と他の利用者又は第三者との間において生じた損害、紛争等について一切責任を負いません。

#### 第6条（通知又は連絡）

1. 利用者とは当ホテルとの間の連絡は、電話及び当ホテルが適当と判断する方法によって行うものとします。

2. 前項に規定する方法により行った通知又は連絡は、その通知又は連絡がなされた時点から効力を生じるものとします。また利用者側の問題により通知の又は連絡することができなかったとしても、当ホテルは一切の責任を負いません。

#### 第7条（本サービス内容の変更等）

当ホテルは、利用者に事前の通知をすることなく、本サービスの内容を変更し又は提供を中止することができるものとし、これによって利用者に生じた損害について一切の責任を負いません。

#### 第8条（本サービスの提供の停止等）

1. 当ホテルは、以下の各号のいずれかの事由があると判断した場合、利用者に事前に通知することなく本サービスの全部若しくは一部の提供を停止又は中断することができるものとします。

- (1) 本サービスにかかるNゲージの保守点検又は更新を行う場合
  - (2) 火災、停電又は天災等の不可抗力により、本サービスの提供が困難となった場合
  - (3) Nゲージ又は電源回線等が事故により停止した場合
  - (4) その他当ホテルが本サービスの提供が困難と判断した場合
2. 当社は、本サービスの提供の停止若しくは中断により、利用者若しくは第三者が被ったいかなる不利益又は損害について、一切の責任を負いません。

#### 第9条（利用規約の変更）

当ホテルは、必要と判断した場合に、利用者の承諾を得ることなく、利用者に通知することにより、本規約を追加、変更又は削除することができるものとします。

#### 第10条（権利義務の譲渡の禁止）

利用者は、当ホテルの書面による事前の承諾なく、本規約上の地位、本規約に基づく権利若しくは義務を第三者に譲渡し、又は担保に供することはできません。

#### 第11条（準拠法及び合意管轄）

1. 本規約に関する準拠法は、日本法とします。
2. 本規約及び本サービスに関する一切の紛争については、当ホテルの本店所在地を管轄する裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

以上

